

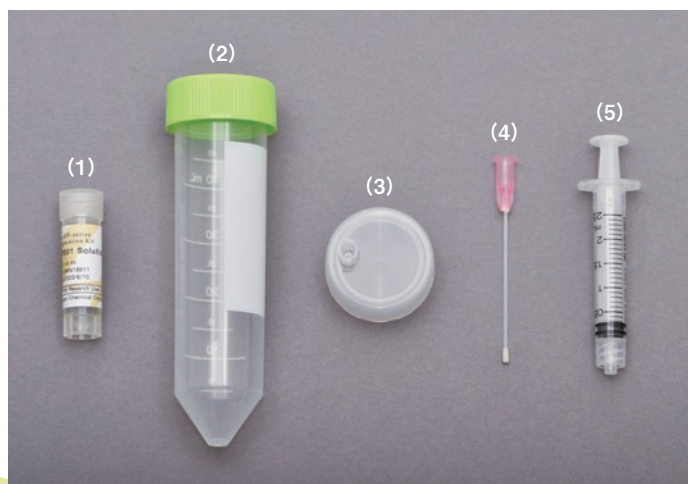
FCeM[®]-series Preparation Kit

培地作製プロトコール

概要

本キットは、FP001ポリマーを任意の培地へ添加することで三次元培養培地を調製することができるキットです。本製品により調製した三次元培養培地は、一般的な培地と同程度の粘度でありながら、接着細胞をはじめとする各種細胞を無攪拌状態で三次元浮遊培養することができます。

キット構成



- (1) FP001液…1.6mL (保管温度2-30℃)
 (2) コニカルチューブ…1組 (オートクレーブ可^{*1})
 (3) アダプターキャップ…1個 (オートクレーブ可^{*1})
 (4) プラスチック針…1本
 (5) シリンジ…1本
- ^{*1} 121℃、20分

本キット以外に必要な器具・設備

- クリーンベンチなどの無菌操作が可能な設備
 ピペッター、ピペット (25mLまたは50mL)
 三次元培養に使用したい任意の培地

培地種類	培地量 ^{*2} (mL)	FP001液 (mL)
DMEM-LG, DMEM-HG, DMEM-Ham's F12, EMEM, Ham's F12, McCoy's 5A, など	49	1.0
RPMI1640	48.7	1.3
mTeSR [™] 1, TeSR [™] Family, Essential 8 [™] , など	48.5	1.5

^{*2} 作製培地量を減らしたい場合には、FP001液量も同じ割合で減らして添加して下さい。
 キットの推奨作製培地量は30~50mLです。

注) 本製品はFP001と培地成分との相互作用により浮遊作用を発現させています。培地組成によっては浮遊作用が得られない場合があります。

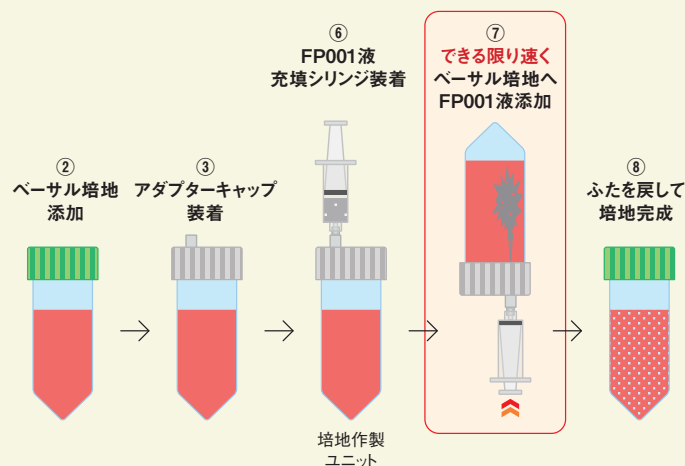
注意

- 本製品は研究用試薬です。試験研究用以外の目的に使用しないで下さい。
- 手袋、保護用メガネ等により適切な身体保護を施して下さい。
- 本製品と眼や皮膚との接触を避け、飲み込んだり、吸引したりしないで下さい。
- 発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承願います。

培地の作製方法

- ① 三次元培養に使用したい任意の培地を37℃に温めます。
- ② コニカルチューブ(2)へ任意の培地を加えます。
- ③ 培地を入れたコニカルチューブ(2)のキャップ(緑)を外し、アダプターキャップ(3)を装着します。
- ④ プラスチック針(4)をシリンジ(5)へ装着します。
- ⑤ プラスチック針を装着したシリンジで所定量のFP001液(1)を分取後、プラスチック針をシリンジから取り外します。
- ⑥ FP001液充填シリンジ⑤をアダプターキャップ装着のコニカルチューブ③へ接続し、培地作製ユニットを組上げます。
- ⑦ シリンジとコニカルチューブが緩まないようしっかりと固定し、培地作成ユニットを反転させて、**下方のシリンジからFP001液をできる限り速く一気に**コニカルチューブ内の培地へ添加します。(概ね0.5秒以内)
- ⑧ シリンジおよびアダプターキャップを外してコニカルチューブのキャップ(緑色)で密栓し、作製した三次元培養培地を均一となるよう穏やかに転倒混和します。
- ⑨ 一晚冷蔵(2~8℃)保管し、必要に応じ任意の成分を添加して三次元浮遊培養に御使用下さい。

注) 作製した培地は、凍結すると浮遊性能を失います。



お問合せ下さい

培地作製条件や操作でご不明な点、培地作製を失敗してしまった場合、浮遊効果が得られない場合等、ご不明な点が御座いましたらお気軽にお問合せ下さい。